

arcserve®
Assured recovery™

Arcserve r16 シリーズ
Oracleデータベースの
保護ソリューション

Arcserve Japan

> Oracleデータベースの保護機能

バックアップ

1. 多様なオンライン バックアップ
2. 高可用性 (クラスタ/RAC) 環境の保護
3. rawデバイスからのデータ保護
4. rawバックアップ: ストレージ機能との連携
5. クロス環境の保護

複製

1. 遠隔地への複製とサービス継続 (HA)
2. バックアップ データの遠隔地コピー

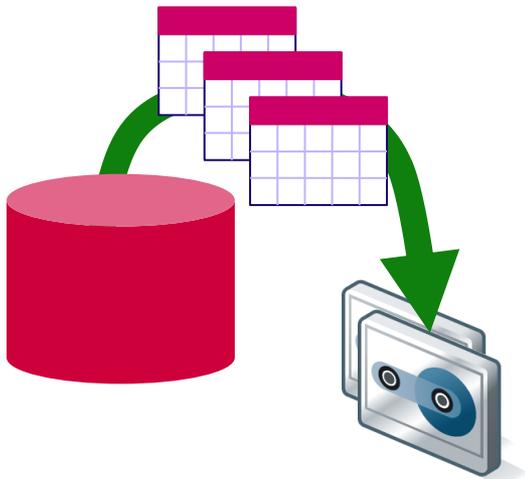
> Oracle DB連携の多用なオンラインバックアップ

OSコマンドのコピー

SQL文を内部で発行し、バックアップ処理を簡素化

Arcserve Backupでは、“ファイルレベルバックアップ”と表現されるバックアップ方式

表領域やログをコピー

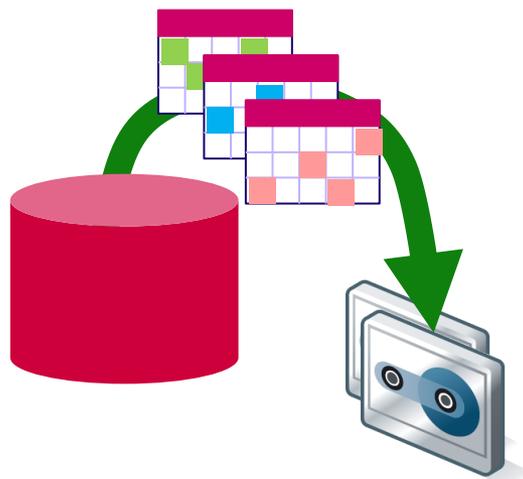


RMANでバックアップ

OracleのRMAN と連携し、フルバックアップや増分バックアップを実行

RMAN: Recovery Manager

表領域やログをバックアップ
(増分はビットマップ利用)

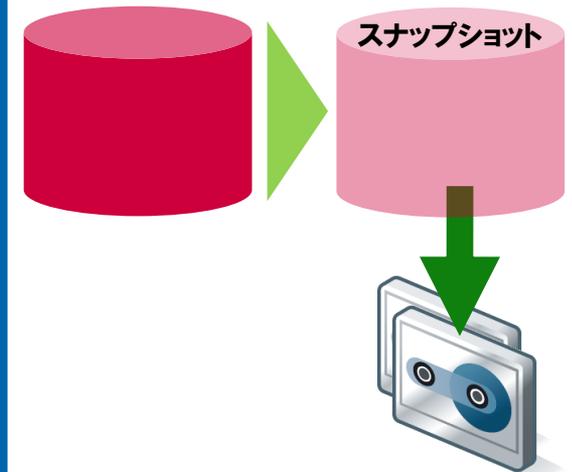


増分はビットマップで、変更ブロックのみ抽出

VSSでスナップショット

OracleのVSSライタと連携し、スナップショットでOracle DBのフルバックアップを実行

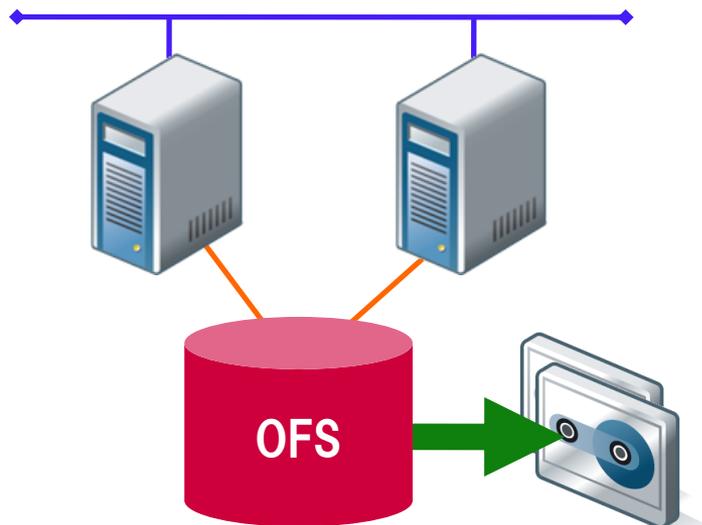
スナップショットをバックアップ



> 高可用性 (クラスタ/RAC) 環境のデータ保護

クラスタ (WSFC/MSCS)

クラスタ上に構築されたOFS (Oracle Fail Safe) のDBをバックアップ



バックアップ方法:

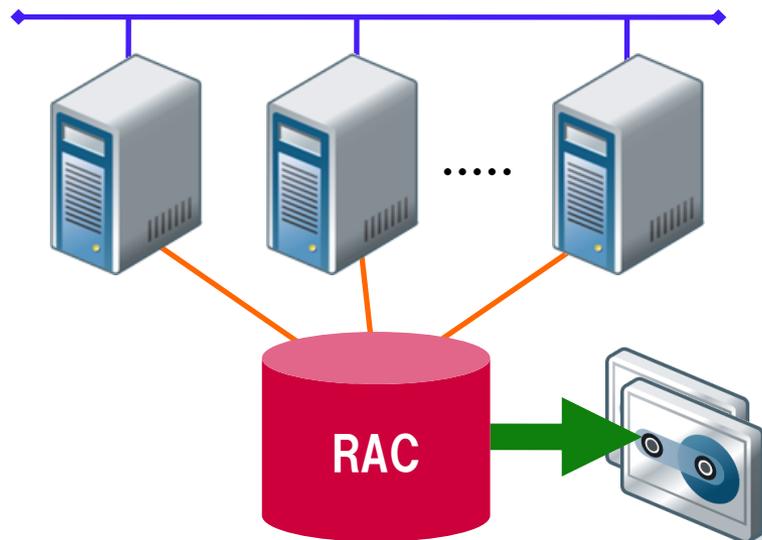
OSコマンド

RMAN

VSSライター

Oracle RAC

Oracle RAC構成のDBをバックアップ

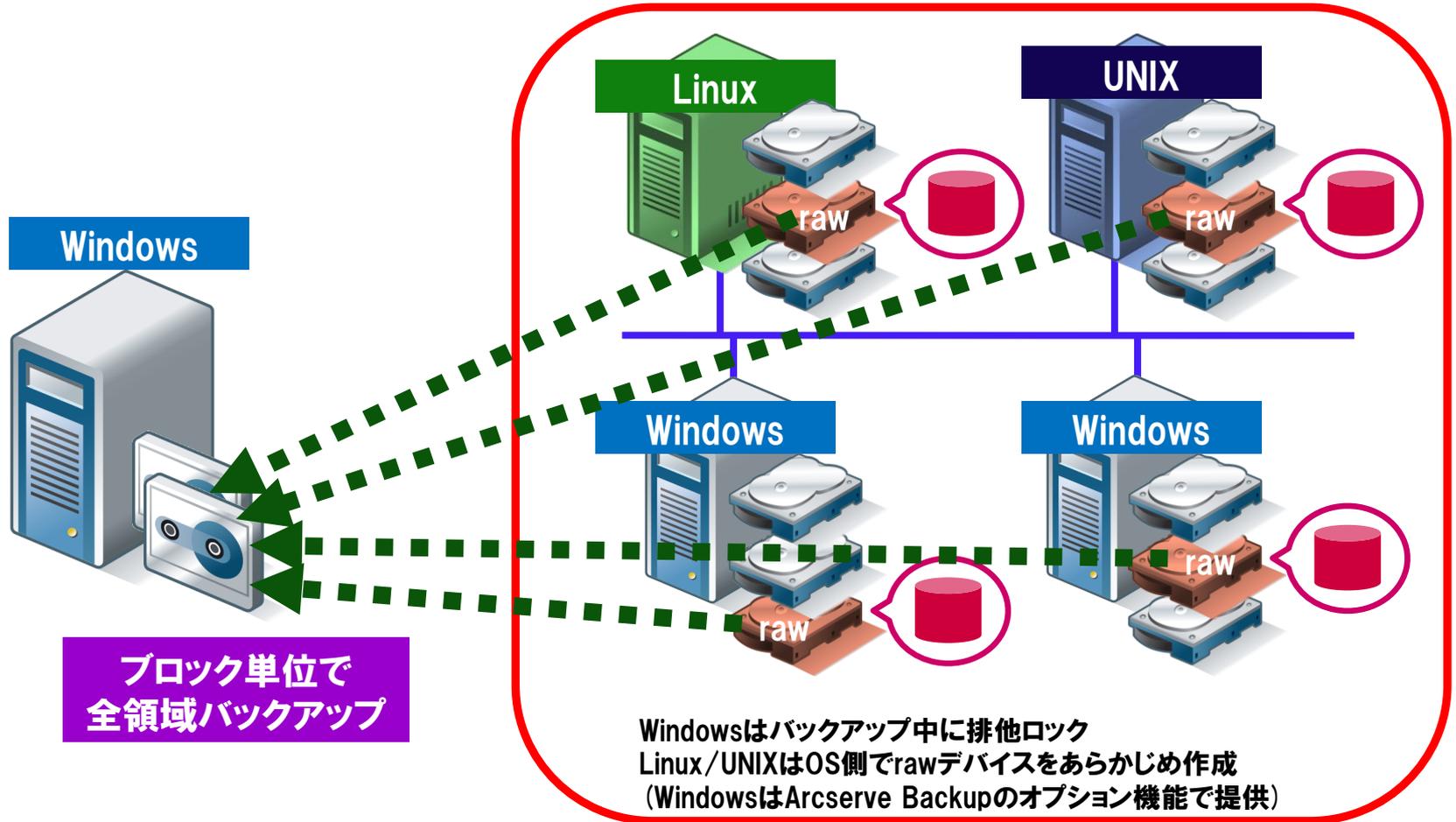


バックアップ方法:

RMAN

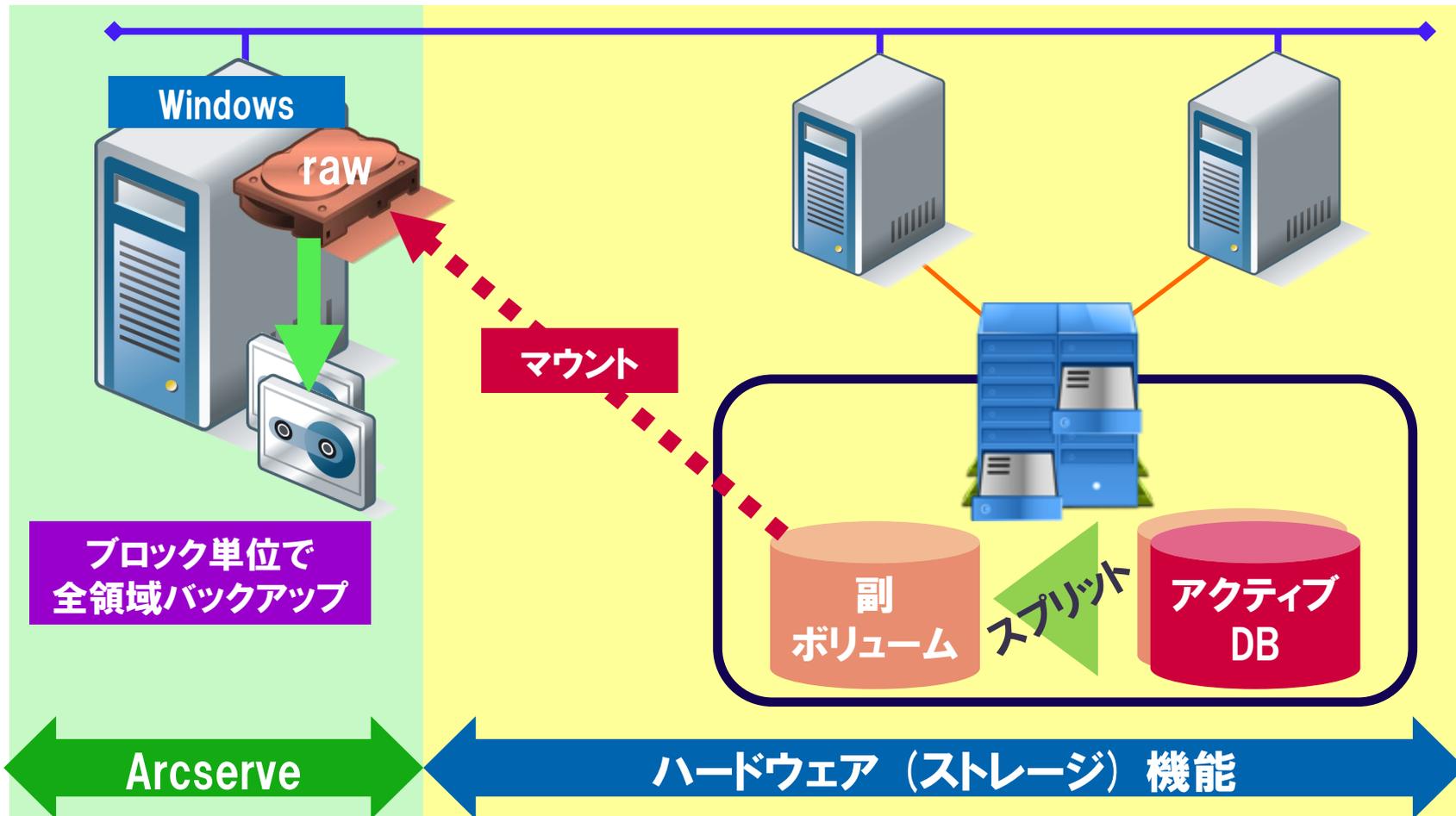
> rawデバイス (rawボリューム) からのデータ保護

- **ファイル システムを経由せずにrawからOracle領域を保護**



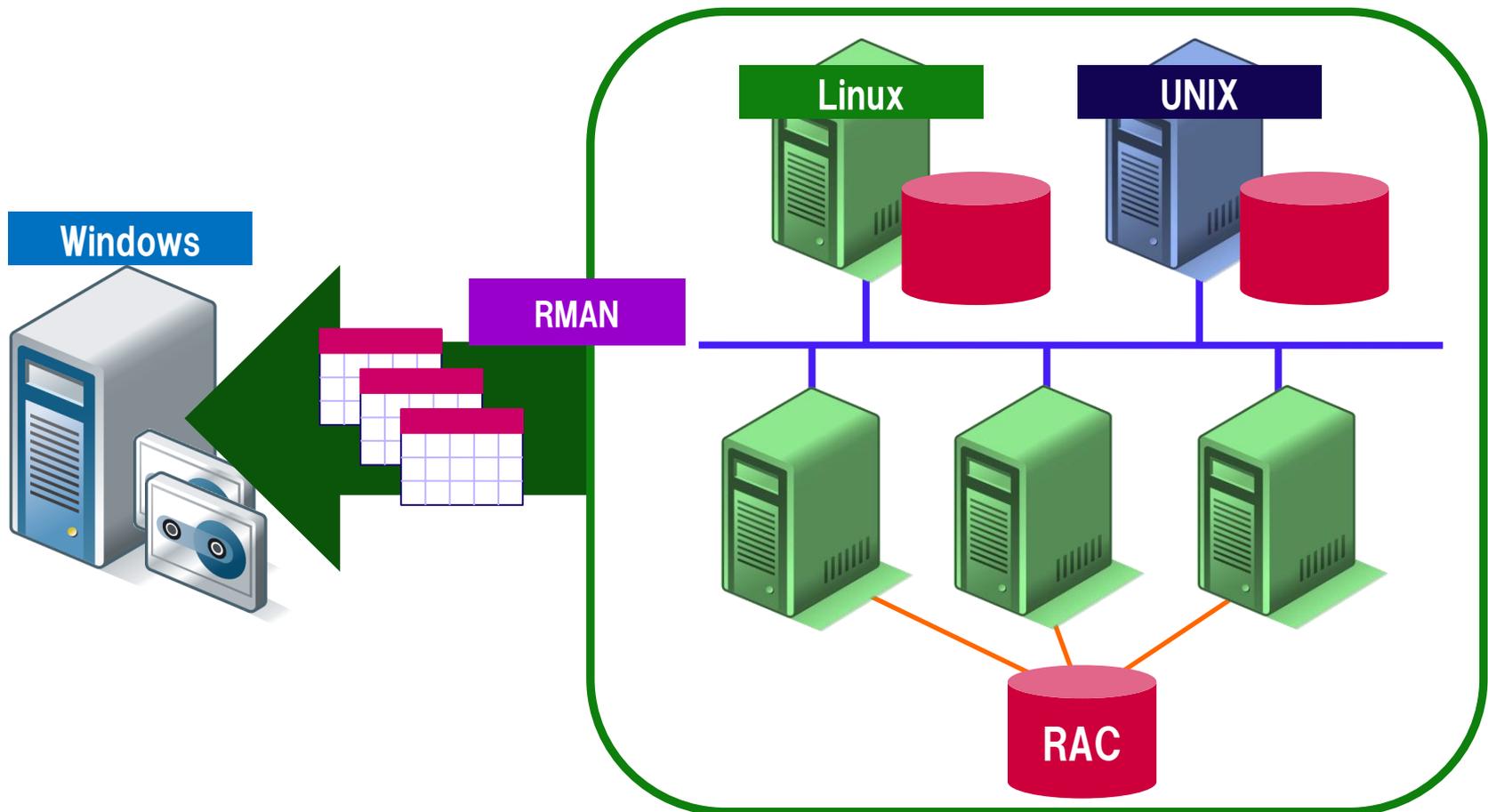
> rawバックアップ: ストレージ機能との連携

- ストレージ機能でスプリットし、バックアップサーバにマウント



> クロスOS (Linux/UNIX) のデータ保護

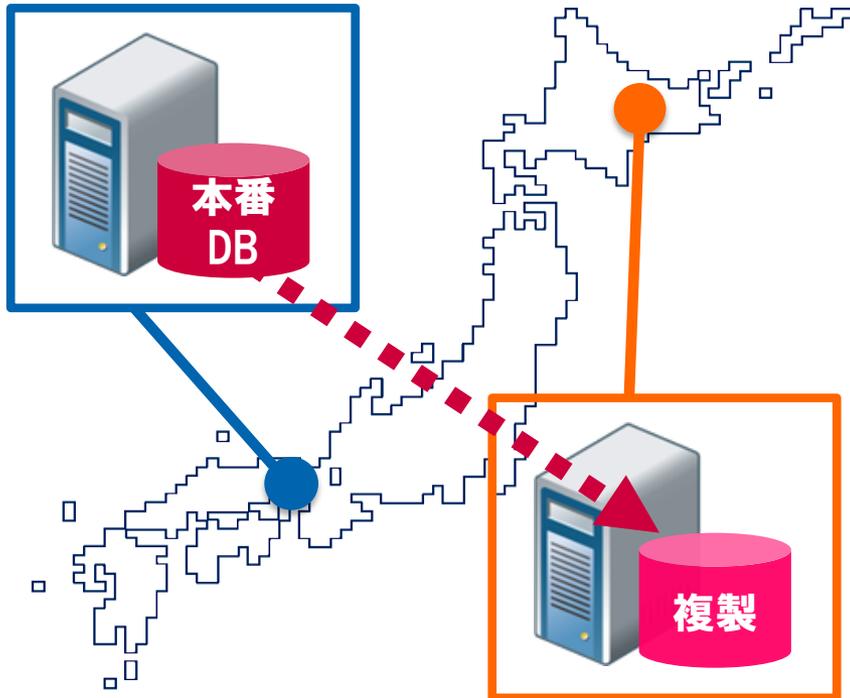
■ Windows OSのバックアップ サーバから保護



> 遠隔地へのOracleデータ複製とサービス継続

遠隔地への複製

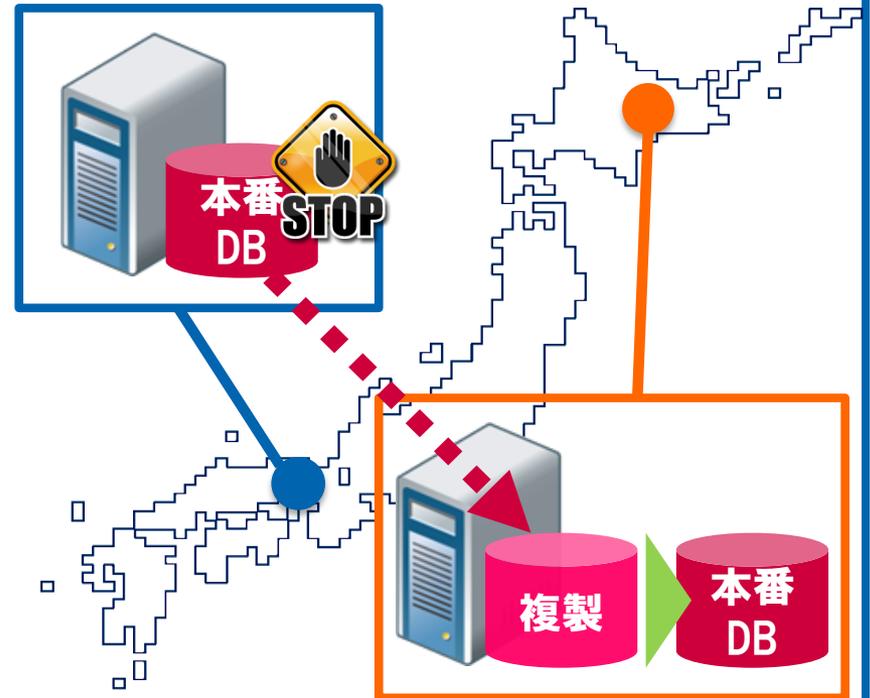
災害対策としてOracleデータを遠隔地へ複製



複製側はOracle サービス停止

サービス継続 (High Availability)

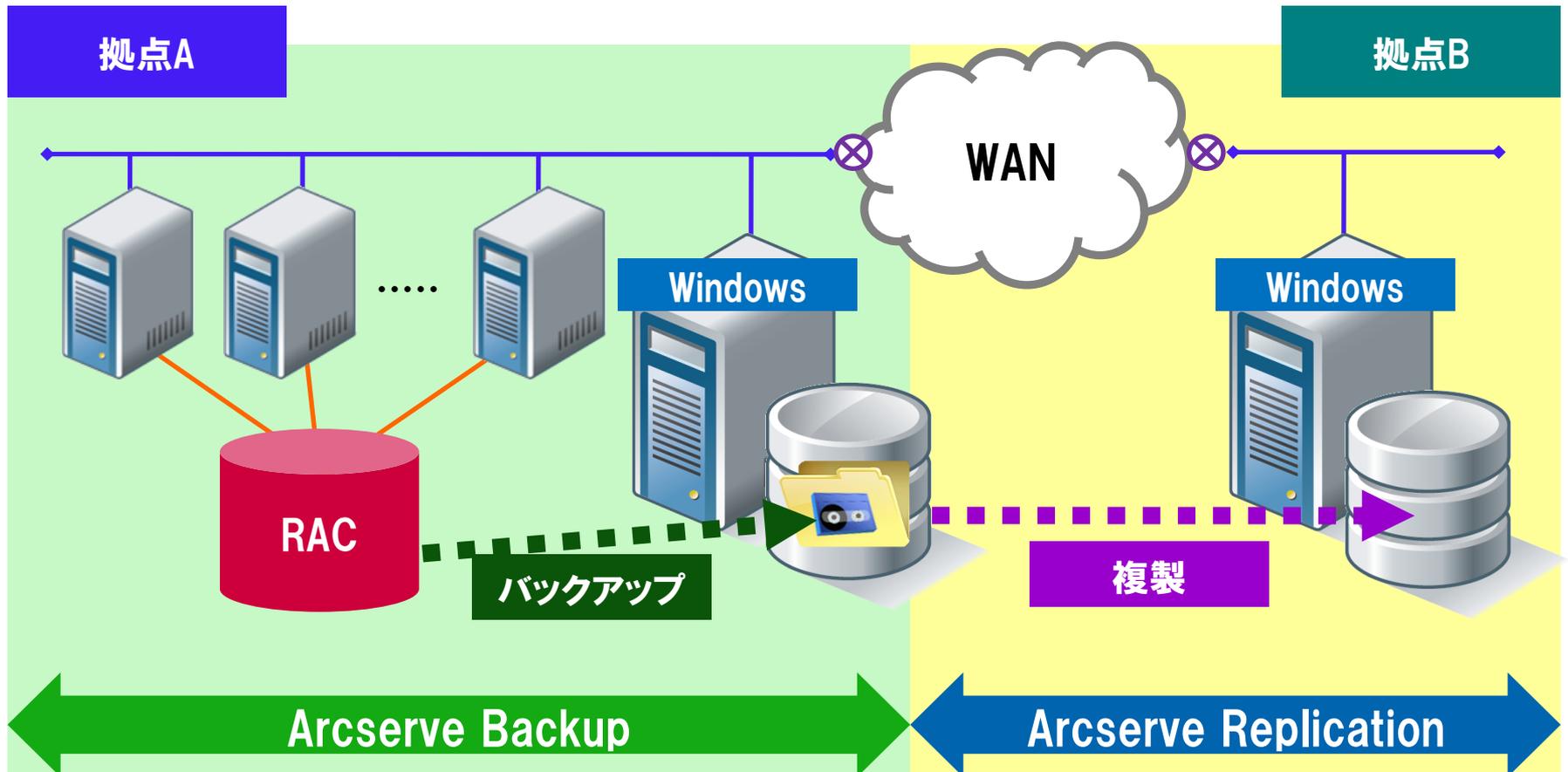
本番DB障害時に複製側でOracle起動



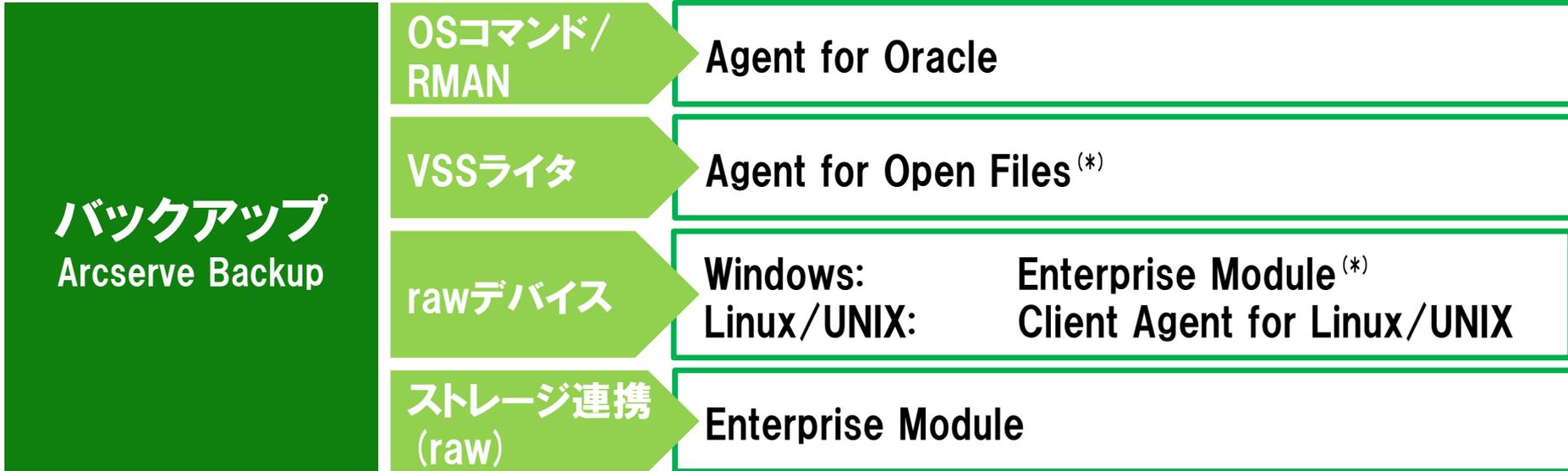
複製中はOracle サービス停止

> Oracle DBのバックアップデータを遠隔地コピー

- Oracle DBをハードディスクにバックアップし、遠隔地へコピー



> Oracle データベース保護機能の対応製品



(*) リモートノードで利用する場合は、Client Agent for Windowsが別途必要になります。



arcserve®

お問合せ窓口:

Arcserveジャパン・ダイレクト

0120-702-600